

経営比較分析表（令和4年度決算）

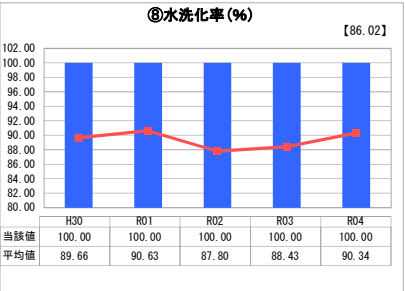
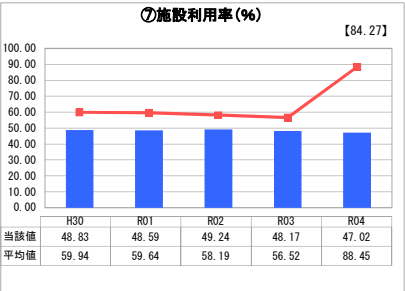
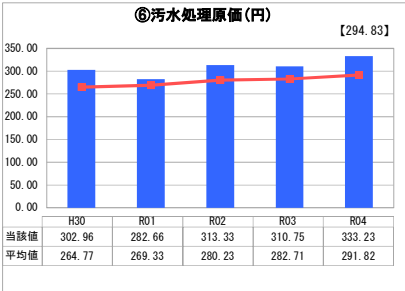
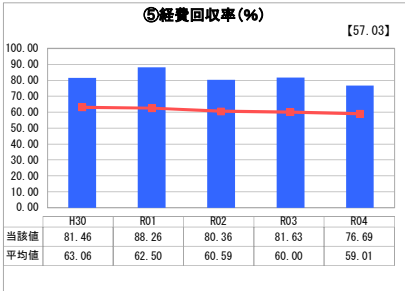
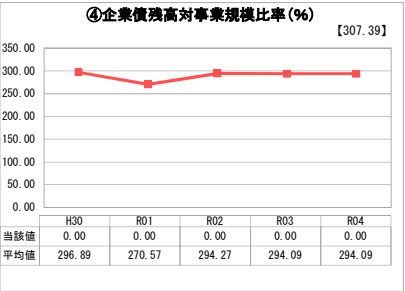
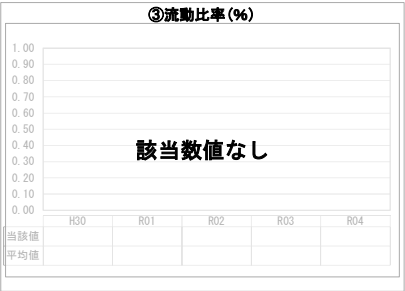
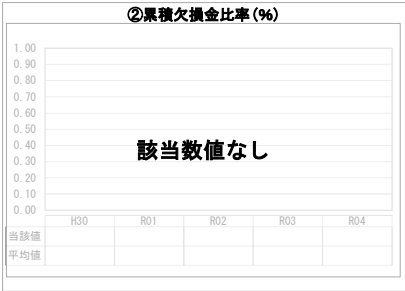
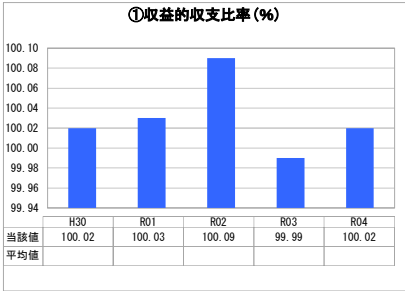
岩手県 奥州市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	9.10	100.00	5,023

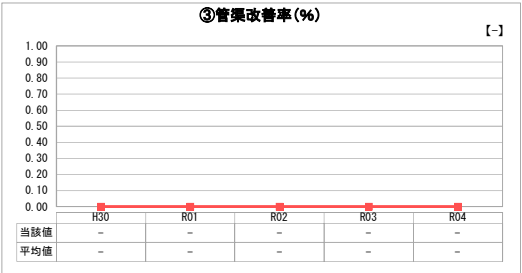
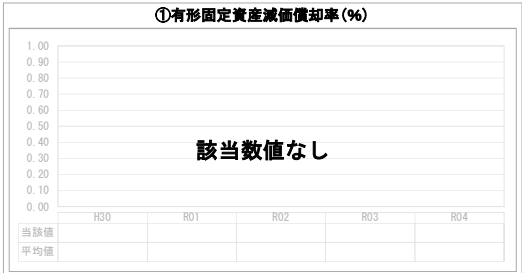
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
111,632	993.30	112.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,092	493.60	20.45

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は100%を超えているが、総費用に対し使用料などで不足する部分を一般会計からの繰入金により黒字を保っている。

④企業債残高対事業規模比率は、企業債償還金の全額を一般会計繰入金により返済していることから当該値に表れていないが、今後も浄化槽整備のため企業借入れが続く予定である。

⑤経費回収率は、全国平均を上回っているが、整備を継続していることから維持管理に伴う経費の増加に伴い悪化している。

⑥汚水処理原価は、平均より高い状況となっており、委託業務等の維持管理費の節減が必要である。

⑦人口減少により整備当初と比べ、利用率は減少傾向となっている。

⑧浄化槽を設置した家屋を処理区域内とし、水洗便所設置済人口と同数としていることから100%となっている。

2. 老朽化の状況について

浄化槽は、平成13年から整備のため、本体の大規模修繕は発生していないが、付帯設備の計画的な更新が必要である。

全体総括

使用料及び基準内繰入金のみでは、経費の全てを賄えず、不足する分は基準外繰入金により収支均衡を保っている。

維持管理方法及び整備計画の見直しにより経費削減に努めるとともに、経営改善のため、適正な料金設定の検討も必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。